



小島友実の あの馬の STORY

エレガンテレーナ



飼葉食いは良好。ペロリと食べて満足げなエレガンテレーナちゃん

「この馬が一歳の時に初めてマークアンドトレイル戦で勝ち上がったH・レガント・レイナ。デビューワークでの勝利は、見事に順調に来た印象ですが、実はこれまでの道程は決して順風満帆ではなかったのです。高柳瑞樹調教師は、振り返ります。

「この馬が一歳の時に初めてマークアンドトレイル戦で勝ち上がったが、遅生まれということもあり、華奢で少し頼りない印象でした。だから育成の途中で一頓挫あるかもと考えていたのですが、意外にも休み無く乗り込み、飼葉も食べて、それで、牧場へ見せた度に『順調にきています』との事でした。変わらぬ大きさに驚きましたね」

当初の想定よりも早く、昨年5月末に美浦トレセンへ入厩。しかしうるさい条件であるゲート試験で高柳厩舎はないあまりの手を尽くしての事になつます。

「普段、うわの厩舎には選んでても週間に位でゲートに受かるのですが、でもこの馬の場合、一ヵ月半かかるました。これはひどい新記録で開業以来、ゲートでこんなに苦労をした記憶はありません(苦笑)。一番大変だったのは人間の指示を聞かない事。ゲートに入れてからなじみ入つたりしても出たり、ピタッと止まつてしまつたり。ガヴィオラの子供は気持ちが難しいタイプが多いと聞いていましたが、慣れたのかも知れません」

具体的にじんた手を打つたのでしょうか。

「イヤと悪いし気分を損ねるところがあつたので、気持ちを尊重し根気よく行つてきました。馬具を工夫したり、トレーニングも始めましたが、馬場で走る事がない環境で移つて、感じもあつたのかも知れません」

行つながら色々と策を講じた事で「少しごめない」とゲート試験は厩舎のマークアンドトレイル戦で受かったような感じ。つむぎは全部出しました。最後の方は馬もイップイップバイだったので、受かった時は本当に嬉しかったですね」

ゲート試験合格の背景にこんな苦労があつたとは。高柳厩舎の威力に頭が下がつまむね。このような状況がつたため一度ワセツトするのもアレガント・レイナは放牧に出で、8月中旬に帰厩。アーリーに向けての再調整が始まりました。

「いちから構えていたのですが、戻つてきたアレガント・レイナは、放牧の効果もあつて、意外と素直な馬になつてね、調教はそれほど大変ではなかつたですね。キンシャサノキセキ産駒で小気味の良い走りをするのが、中山のマークアンドトレイル戦への参戦になつました」

9月28日のデビューウーク戦は、着でした。

「試験で気難しさを出していたゲートをスマートに出て、流れに乗れていよいよた。まだドモが緩く調教でバフバフを崩すよつた面が最後のコーナーで出て、外に張つてしましましたね。ただ直線では伸びていて、能力を感じました」

そして、この後の2戦目で初勝利を挙げたのは冒頭で記述した通りです。 「初戦の後に放牧に出で、11月中旬に美浦に戻つてきた時、馬体が良くなつて前の方々もスマートになり、成長を感じました。2戦目の時は初戦ほどゲートを出ませてでしたが、上手くインを進み、直線では狭い所を怯む事なく抜け出しましたから、根性がありますね。気持ちは殆ど使つ事はない調馬策で調整を抜く面があるので、ホール前まで接戦

になつたのも良かつた。勝つにはむづかしい時間がかかるし、勝つたので、2戦目で勝てる良かつたです」

初勝利後は放牧に出で、1月12日に帰厩。馬房でアレガント・レイナに会う事ができました。担当の鈴木勇矢持ち乗り調教師によると、「馬房では大人しいものの調教に行くと頑固な面を見る時があり、常に気分を損ねないようにしています(笑)。飼葉は良く食べますよ」との事。馬房を覗くと、アレガント・レイナ嬢は美味しそうに草を食べていました。

今後の展望を高柳師に伺つました。

「次走は2月8日の東京競馬場で行われる春賞賞(2歳400m)に向かう予定です。左回りも対応可能になりました。結果が出れば、桜花賞のトライアルに進んでくるか、1600mも可能になると感じます。この馬の長所はペース。馬体もまだ成長する見込みです。あとは私の強さですね。最近はだいぶ指示を受け入れてくれるようになりました。今後も慎重に進めて行きます。グーハーとかいうさんの馬はアレガント・レイナを含めて、これまで4頭預かりさせて頂き、お陰様で3頭が勝ち上がりてくれています。アレガント・レイナは持つてあるボトルのヤルが高く、わざと止まつて頑張ります(笑)。応援よろしくお願いします」

育成段階からアレガント・レイナは、意外性を發揮し続けています。今後も馬名の由来である「気高く気品のある女性」のよくな走りを期待いたしますね。

(取材:1月15日)

profile

競馬キャスター&ライター。現在、ラジオNIKKEI「中央競馬実況中継」に出演中。「週刊競馬ブック」や「JRA-VANスマートアプリ」にて連載を持つ。ライフワークは馬場取材で、2015年「馬場のすべて教えます(王婦の友社刊)」を出版。JRAの競馬場の他、最近は地方競馬場の馬場取材も行っている。